

あなたと議会を結ぶ情報紙

令和7年8月

No.221

議会だより はこね



7月10日 総務企画観光常任委員会で
大涌谷を視察！ ※詳細はP 8

主な内容

- | | |
|------------------------|--|
| ● 一般質問 P 2～6 | ● 議員活動報告 P 12～14 |
| ● 6月定例会・賛否 P 7 | ● 小学6年生の議場見学 P 15 |
| ● 委員会活動報告 P 8～10 | ● 箱根・小田原の地場産業「箱根細工」・
編集後記..... P 16 |
| ● 議長フォトレポート P 10 | |
| ● 議会報告会 P 11 | |

町の考え方を問う！

一般質問



6月定例会では、町政全般について、9人の議員が、23項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の通りです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
勝俣 陽二	・箱根町における宿泊税の導入	2
佐藤 章子	・財源不足に対する今後の具体的な施策等 ・オーバーツーリズムによる町民の生活安定 ・ごみ問題 ・幼稚園、保育園、幼児学園、小・中学校の不審者等への安全対策 ・問題行動・不登校への対応 ・消防業務全般	3
鈴木 美貴	・町の有する道路・水道・下水道・橋りょうなどの公共インフラに関する維持管理	4
折橋 尚道	・第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 ・夏の防災対策	4
村野由紀子	・箱根山火山ハザードマップ改定に伴う避難対象地域及び避難 ・観光施設の運営 ・観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方	5
勝俣 泰彦	・観光施設の運営 ・市内の医療体制の現状及び保健福祉施設の運営 ・子育て支援 ・公共交通機関の混雑 ・生涯学習・文化施設の運営 ・学校教育 ・移住定住施策	5
丸子 英人	・「A」が旅行プランを提案する「はこね」の経過	6
川口 延明	・オーバーツーリズム対策 ・補聴器購入助成制度	6
山田 和江	・職員体制の充実	6

※2次元コードを読み取ると、各議員の一般質問動画がご覧になれます。

本町における「宿泊税」の導入を

勝俣 陽二 議員



町 令和10年4月からの導入を目指す

問

今後本格化する人口減少、高齢化や公共施設の更新問題への対応、観光客受入環境の充実など、本町を左右する対策としては、中長期財政見通しとして、多額の財源不足が想定されている。さらに町の人口約1万1千人に対して、年間2千万人の観光客を受け入れるための経費は、地方交付税交付金の普通交付税の算出根拠の対象外となってしまうため、不交付団体となり財源不足に困窮しているにもかかわらず、国からの交付金を受けられない大変厳しい状況におかれている。それでは、観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議としては、そもそも「宿泊税」の導入に関して、どのような考えをもっているのか、町長の見解を伺う。

答

町長 観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議からの中間報告を受

け、町としては、物価高騰等の影響により、本町の財政運営がより一層逼迫することが懸念される中においても、引き続き日本有数の観光地として発展し続けるため、本町の目指すまちづくりにとって、真に必要な最も効果的な新たな財源は、「宿泊税」とし、令和10年4月の導入を目指し、今後具体的な検討を進めていくことを決断した。

箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る
財源のあり方に関する検討会議

中間報告書

5月に提出された検討会議からの
中間報告書

今後の町財政不足の 施策・解決策を伺う

佐藤 章子 議員



町 宿泊税導入を決定し、制度の具体的な検討に入る

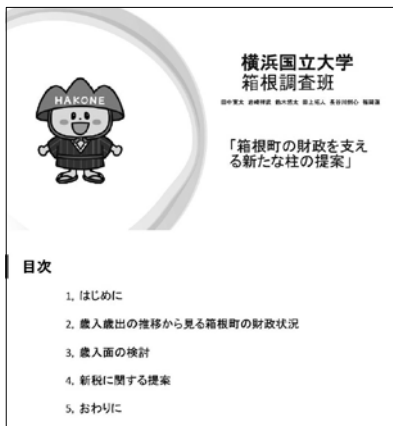
問 町の今後の財政不足は以前から予測していたことであり、深刻な問題である。

その解決策の実行は喫緊な対応が必須と思われるが具体的な施策はどのように考えているのか伺う。

答 **町長** 町の財源確保や収入増の方策については、第2期行財政改革アクションプランの重点項目の1つとして位置付け、積極的に法定外税や税外収入を含めた財源の確保に努めるとともに、自主財源の根幹である町民税の徴収率向上を図ることとしている。

中期の財源不足は固定資産税の超過課税で継続し、なお生じる不足額については第2期アクションプランの取り組みを強化することで対応を図ることとした。

具体的には、観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討



横浜国立大学学生による研究成果の発表 (R7.3.26)

会議からの結果にて、新たな財源確保に向け「宿泊税の導入を1年早め令和10年4月」から導入することを目指していくことに決定した。

今後は、宿泊税の具体的な制度内容の検討をし、令和8年5月に最終報告書が提出できるよう進めていく。その後も議会上程、総務省との協議など必要な手続きを経て宿泊税の導入となる。

ごみステーションの維持管理の 改善とルール違反者への対応は？

鈴木 美貴 議員



町 自治会との調整支援や未加入者への啓発に努める

問 自治会未加入の民泊事業者や民間賃貸住宅へのごみ箱設置の義務化と自治会未加入者への協力金徴収の考えについて、また増加している外国籍住民向けに、写真やイラストとわかりやすい日本語を使ったプリント等の作成の考えは。

答 **町長** 民泊のごみは事業系一般廃棄物となり、収集運搬事業者に委託するか、環境センターに自己搬入するか、燃せるごみが1日当たり10キロ以下であれば登録し、水色の袋に1度に2袋まで排出でき、大規模な賃貸住宅は開発指

導要綱に集積



ごみステーション

場所の設置が義務付けられている。

協力金徴収は未加入者による不公平感は承知しているが、利用者間の合意と捉え、制度化は難しいと考える。

プリントの作成は検討していく。

問 民泊利用者のごみ出しの苦情の受付先は？

答 **環境課長** 監督機関は小田原保健福祉事務所生活衛生部環境課が苦情等を受け付け、民泊事業者に指導を行う。

問 保育・教育施設等への不審者に対する安全対策は。

答 **教育長** 根拠法令は異なるが、危機管理マニュアルを作成し対応しており、不審者対応の一例として、不審者の侵入を知らせるための決められた放送を行い、児童・生徒を教室内に誘導し、出入口にバリケードを作り侵入を防ぎ、警察、警備会社に通報する等対応する。

公共インフラの維持管理は？



折橋 尚道 議員



町

それぞれの施設に応じた計画に基づき対応をしていく

問

道路・橋りょう・上下水道などの公共インフラについて、緊急・中長期的に改良すべきインフラなどの調査はできているのか。また、将来的なインフラ維持に関する改修計画など作成されているのか。

答

町長 道路については、平成28年に路面破損状況調査を実施し、目視確認を通じて損傷に応じた整備を行っている。今後の改修計画は、約700路線の状況や交通量の変化を踏まえながら整備を進める方針である。

橋りょうについては、5年ごとの近接目視点検を実施し、第1回点検結果をもとに50年の中期計画と10年の短期維持管理計画を策定した。これにより予防保全型管理への移行によりライフサイクルコストの縮減を目指す。

水道施設・下水道施設ともに、それぞれの計画に基づき、老朽化状況を評

価し、改修を計画する。

問

公共インフラの改修は長期にわたり多額の費用を必要とするが、起債の考え方を含めた財政の見通しはできているのか。

答

町長 公共インフラの改修は国・県の補助金と起債を活用し、計画的に実施。起債は単年度の財源不足を補い、財政負担の平準化と世代間の負担公平性確保が目的としている。起債は将来の投資費用であり、財政収支のバランスを考慮しつつ有効活用する方針である。



弥栄橋を点検中！

早期認知症の対応を！



村野 由紀子 議員



町

医療機関への受診勧奨を行う

問

高齢者を取り巻く状況は

答

町長 令和7年4月1日現在の人口は1万816人、75

歳以上の高齢者は2446人で割合は22.6%で、65歳以上の高齢化率は37.5%と、令和5年度末の38.3%と比較して若干下がっている。就労の若者の転入者がいることや、外国人の転入も考えられる。単身世帯、高齢者のみ世帯の増加など世帯構造の変化もあり、高齢化の進行に伴い認知症の割合も増加傾向。

問

認知症の方は、どれくらい

答

福祉課長 把握は難しいが、介護認定者に限定すると、令和4年度介護認定者は、753人の内

297人・令和5年度介護認定者は、795人の内303人・令和6年度介護認定者は、801人の内322人で

40.2%が認知症。介護認定者の増加とともに認知症の方も増加傾向である。

問

MCIと呼ばれる軽度認知症、日常生活に支障をきたす程度ではない状態で、MCIであることが気づかれないままになっている人も少なくないと言われている。MCI検査は採血でもできる。早期の段階での対応は。

答

保険健康課長 MCIのリスクを判定する検査費用は、1回2万円程度と高額。本町では、75歳以上の方の長寿検診で認知症に関する質問を設け、認知能力低下が見受けられる場合は、医療機関へ受診勧奨を行っている。



観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方は



勝俣 泰彦 議員



町 宿泊税に絞って検討することが現実的である

問 各種協力金や観光客入域課税の検討経過及び宿泊税の概要と現状は？

答 **町長** **【各種協力金】**「有料公衆トイレ・富士山保全協力金・屋久島山岳部環境保全協力金」等を対象に財源規模を試算。有料公衆トイレは、金時公園トイレを利用者見込み数から試算した結果、財政規模は780万円で財源確保には繋がらない。富士山保全協力金・屋久島山岳部環境保全協力金は、富士山や屋久島入山者から1000～2000円程度の協力を徴収しているが、当町には類似対象がないため試算が困難。

【観光客入域課税】 沖縄離島への入域に課税する環境協力税等や、宮島訪問課税を対象とした。離島の地理的特性により入域補足は可能だが、本町に入町する交通手段は多岐に渡っており、その中から観光客・町民・通過する人

評価項目 (評価の観点)	税の名称 (税の区分)	(1) 入域税の 超過課税 (法定税)	(2) 宿泊税 (法定外税)	(3) 駐車場利用者 への課税 (法定外税)
① 財源の規模 (先行導入体の実施事例に基づく試算結果)		△	○	△
② 財源不足の補填関連施設を賄えるか		○	○	△
③ 観光客だけを対象として補填できるか		△	○	○
④ 対象となる観光客の範囲		△	○	○
⑤ 幅広い観光客を対象にできるか		△	○	○
⑥ 使い道の柔軟性		△	○	○
⑦ 観光まちづくりの対象範囲に活用できるか		○	○	×
⑧ 実施に要する期間		○	○	×
⑨ R11までに実施できるか		○	○	△
⑩ 収入安定性		○	○	△
⑪ 安定的かつ継続的な財源となるか		○	○	△
⑫ 受益の程度		△	○	△
⑬ 受益と負担の関係を整理できるか		△	○	△
⑭ 納税者の負担感		○	△	△
⑮ 利用料金に対して税負担は適量か		○	△	△
⑯ 徴収費用や徴収事務 (徴収等は共通のため省略)		○	△	△
⑰ 事業者への負担軽減措置		×	○	○
⑱ 費用負担等へ軽減措置はあるか				

評価結果一覧 ※検討会議中間報告書から引用

を区別して徴収することは困難。

【宿泊税の概要と現状】 宿泊税は都道府県を除き6市町が実施し、定額制は100～1000円、定率制は宿泊料金の2%を課税しており、試算結果の財政規模は5.9～13.3億円程度。実施課題は、規模が大きいため入湯税やふるさと納税と重複しない使い道の整理が必要であるが、他の財源確保策より適性がある。

路線バスの混雑及び町内医療体制について



丸子 英人 議員



町 代替交通手段の周知、安定した医療体制を確保

問 定住者の移動が困難な状況だが、公共交通の混雑に対する町の認識と対応は。

答 **町長** 特に路線バスについて、時間帯によっては何本も見送らないと乗車できない状況が見受けられる。バス事業者の対応を確認したところ、他地区で廃止した路線から箱根の路線に優先的に運転手を補充し、同時刻のバスを2台で運行する等の営業努力と共に、大きな荷物に対応できるバスの導入等、様々な工夫をされていると聞いている。バス事業者があらゆる手を尽くしている中、町としてできることは見出しにくい。

そこで町としては、観光客と住民双方に新たな交通手段として既に事業展開がなされている「はこねカーシェア」や「相乗りタクシー（カンモビ）」の周知を図りたい。「日本版ライドシェア」についても早期導入を働き掛けていく。

問 町内で医療を受ける際の現状と課題について伺う。

答 **町長** 町内の医療機関は既に内科が7施設、歯科は3施設あり、温泉地域に診療所が開設することで町内各地域の一次医療体制は安定化すると考えている。救急医療については広域二次病院群輪番制により患者受け入れ体制は整っている。引き続き広域連携による体制確保を図りたい。



箱根観光の満足感を与えてほしい

川口 延明 議員



町

箱根DMO作成のAーアプリにより十分楽しんでもほしい

問

箱根DMOがAーによる旅行者用観光プラン、「はこタビ」アプリの利用を開始した。このサービスは、旅行者が自分の好みに合った効率的な周り方などを知ることができ、これにより、箱根におけるオーバーツーリズムの解消、旅行者の周遊性の向上が期待される。

そこで利用者が自分の好みに合ったオリジナル箱根周遊プランを作成した場合、今後の周遊形態がどのように変わっていくのか？

答

町長 今までは誰もが旅するルートを選んでしまい、箱根観光における、いわゆるゴールデンコースが中心となってしまう傾向にある。

特定の混雑する時間帯に混雑するルートを選択してしまう結果、多くが同じ場所に集中し混雑に巻き込まれてしまうという状況が起きている。

箱根DMO作成の「はこタビ」により、このような方々に、観光スポット、グルメ、温泉など個人の趣味、趣向に合わせて箱根の魅力を楽しめる行程が組め、渋滞や混雑の情報を勘案し、これを避けたコースをAーが瞬時に組み合わせることができる。

この提案により箱根全体の混雑の緩和にもつながり、ひいては、旅の満足度も上がると考えられる。

はこタビで快適な、観光を。

あなたに最適な箱根観光プランをご提案。観光スポット、グルメ、温泉など、箱根の魅力を存分に楽しめるプランをパーソナライズしてお届けします。

AIで旅行プラン作成

箱根に行く予定の方はこちら

今箱根にいる方はこちら

「はこタビ」のホームページ

町

次回の見直し時に県への要望を検討していきたい

問

オーバーツーリズムは住民生活への影響が深刻な事態となっている。路線バスでは大きなキャリーケースを持ち込む観光客の影響で住民がバスに乗れない、乗車しても座れず病院に診察に行くのにずっと立ちっぱなしでも疲れる、早急に改善してほしいとの声が異口同音に上がっている。大型の荷物をバスに乗せなくてもよいように事業者が行っているキャリーサービスに町も補助をするなどの対策が必要ではないか。

答

町長 持続可能な観光推進事業を活用し、観光客のスムーズケースなどの大きな荷物を配送するサービスを確認エリア全体で取り組みよりスムーズな箱根観光を促進していく考えだ。

問

次に民泊等について伺う。規制緩和による住民との軋轢を生んでいる最たるものだ。ある住民は

管理人不在は世界の暴挙、現行法令の規制等を県に訴えよ

山田 和江 議員



答

町長 次回の見直し時に県への要望を検討していく。

隣の保養所が民泊になって庭で行われるバーベキュー等の騒音で悩まされ何度注意をしても止まず、箱根を出ることを真剣に考えたとのことだ。2018年当時の全日本ホテル旅館協同組合の理事長は、管理人不在で営業許可を出すのは世界でも例のない暴挙だといっている。現行法令への規制など、上乗せ条例を県に訴えていくことが必要ではないか



管理人のいない宿泊施設があちこちに

6月議会審議議案

議案第32号から48号まで17件について、時間をかけて慎重に審議しました。

【議案第32・33号 専決処分の承認 2件】 承認

- 雪害対策・冬の雪かきや融雪剤の散布に携った業者への支払い 2,300万円
- 原付バイクの排気量が125cc以下に変更したための町税条例の改正



【議案第34号 箱根町非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の改正】 可決

- 選挙投票所などの運営に携わる方々の費用の改正

【議案第35号 箱根町一般会計補正予算の主な内容】 可決 補正額 3億417万4千円

- 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金
- ごみ処理広域化推進事業追加 負担金追加
- 救急業務高度化推進事業 財源内訳更生



【議案第36号 令和7年度 箱根町公共下水道事業会計補正予算】 可決

- 工事請負費の追加 1,700万円

【議案第37・38・39号 工事請負契約の締結 3件】 可決

※①件名、②落札業者、③契約金額

- | | | |
|------------------------------------|---|---------------------------|
| ①粗大ごみ処理施設改修事業
粗大ごみ処理施設基幹的設備改修工事 | ①箱根旧街道保護対策事業
箱根旧街道保存活用整備工事(畑宿千鳥橋上地区) | ①箱根関所復元再整備事業
復元施設再整備工事 |
| ②株式会社神鋼環境ソリューション 東京支社 | ②有限会社三浦組 | ②箱根建設株式会社 |
| ③2億4,200万円 | ③5,104万円 | ③7,647万2,000円 |

【議案第40・41・42号 物件供給契約の締結 3件】 可決

- 高規格救急自動車(消防本部配備) 車体、積載医薬品・医療器具の2件 合計契約金額 4,180万円
- 消防ポンプ自動車(第6分団) 2,821万5,000円



【議案第43号 湯河原町真鶴町衛生組合と箱根町との 可燃ごみ焼却処理の事務委託に係る協議】 可決

- 本年10月から下郡が同じ施設(湯河原町真鶴町衛生組合)を使って可燃ごみ共同処理を行うための協議と規約

【議案第44号 箱根町と湯河原町真鶴町衛生組合との 剪定枝等資源化処理の事務委託に係る協議】 可決

- 令和9年3月から下郡の樹木伐採や枝払いした剪定枝などを受け入れる共同処理を行うための協議と規約

【議案第45・46・47・48号 各委員の選任】 同意

- | | | |
|----------------|-------|---------|
| ○固定資産評価審査委員会委員 | 宮城野在住 | 小嶋 章司 氏 |
| ○温泉財産区管理委員会委員 | 宮ノ下在住 | 加藤 修司 氏 |
| ○宮城野財産区管理委員会委員 | 強羅在住 | 中村 雅昭 氏 |
| ○人権擁護委員 | 仙石原在住 | 勝俣 亘 氏 |

議員別議案賛否一覧

下記の議案採決表は賛否が分かれた議案のみの掲載をしています。その他の議案採決はすべて全員賛成で議決されました。

議案番号	議 案 名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	丸子英人	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣
43	湯河原町真鶴町衛生組合と箱根町との可燃ごみ焼却処理の事務委託に係る協議について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議案の詳細等につきましては、こちらをご覧ください。



※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：議長は採決に参加しません。

※ 専決処分とは、本来は議会の議決を必要とする事項を、緊急時や議会の委任に基づいて、町長が議会に代わって決定する制度です。

委員会活動報告

5/26

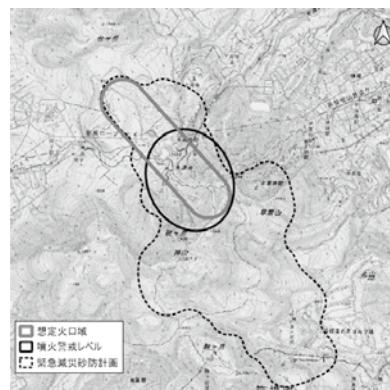
総務企画観光常任委員会中間報告

総務企画観光常任委員会 委員長 勝俣泰彦

「改定された箱根山（大涌谷）ハザードマップの概要」の詳細について所管課から説明を受けた。

ハザードマップの改定は、箱根山火山防災協議会が最新の調査を基に行い、令和7年3月に改定案が承認され公表された。

主な改定内容は、①想定火口域の変更として、従来の楕円形から、北西～南東方向に細長い小判形に変更、②火山現象の再評価充実として、水蒸気噴火に伴う噴石・降灰・火山噴出型熱泥流等を対象に影響範囲を推定、③避難計画の見直しとして、観光客や住民の安全確保のため、避難ルートや避難場所の再設定等が行われた等の説明を受けた。



新たな想定火口域



総務防災課から説明を受ける

説明後の意見交換で

は、各委員から火山噴出型熱泥流のシミュレーション・ハザードマップ改定資料の配布状況、観光客や住民の避難方法や情報伝達・避難の方法等についての質疑が出され、活発な意見交換が行われた。

大涌谷を訪れる際には、最新の火山活動情報やハザードマップが改定されたことを知っていただく必要があることから、住民は元より、観光客や外国人にも分かりやすい情報提供ができるよう、関係各所との連携を深めていきたい。

大涌谷を訪れる際には、最新の火山活動情報やハザードマップが改定されたことを知っていただく必要があることから、住民は元より、観光客や外国人にも分かりやすい情報提供ができるよう、関係各所との連携を深めていきたい。

7/10

大涌谷「新展望エリア」「自然研究路」「箱根ジオミュージアム」視察

総務企画観光常任委員会 委員長 勝俣泰彦

大涌谷新展望エリア「ちきゅうの谷」、火山地帯特有の自然を観察できる「大涌谷自然研究路」、箱根の歴史や自然の魅力を味わえる「箱根ジオミュージアム」を視察した。

「ちきゅうの谷」は、(株)小田急箱根が本年4月に、箱根ロープウェイ大涌谷駅と駅前広場をリニューアルし、「黒・ジオ・風」をテーマにした新しいエリアで、(株)小田急箱根社員の案内により、吹き込む風を感じる「風の輪テラス」、填気を見下ろせる谷へ突き出したスリリングな「息吹のデッキ」、開放感のある景色を見渡せる「大空のほとり」の展望デッキや、自然と一体化する「岩の巣ベンチ」



ちきゅうの谷から！

を体験し、駅前に広がる大涌谷の広陵とした大地や、蒸気が吹き上がり、硫黄のにおいが漂う生きた地球を感じられる雄大な自然と触れ合うことができました。

「大涌谷自然研究路」では、箱根DMO職員による、引率入場等の概要や入場実績等について説明を受けた後、自然研究路の状況について現地を確認した。

「箱根ジオミュージアム」では、学芸員の案内による特別展を視察後、運営状況等について説明を受け、質疑を行った。

「箱根ジオミュージアム」では、学芸員の案内による特別展を視察後、運営状況等について説明を受け、質疑を行った。



箱根ジオミュージアムを視察

5/26

教育福祉環境常任委員会中間報告

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口延明

環境センターの現状及び広域化について、所管課から報告があり、3月27日採取の排ガス中のダイオキシン類測定結果や発生原因、今後の可燃ごみ中継施設等整備スケジュール、湯河原町真鶴町衛生組合の焼却炉の基幹的設備改良工事の進捗状況、同組合からの剪定枝等の受け入れについてなどの説明を受けた。

委員からは「ダイオキシン類の濃度は基準値が1.0に対して今回の測定値が1.3となったが、どのくらいのレベルなのか？」他30項目以上の質疑が出された。

町の焼却炉が停止している中で広域化稼働まで業務運営をしなければならないので、安全面には十分注意をして、町民に負担のかからないようにしてほしいと要望も出した。

今回の意見交換の内容は大変重要な課題も多かったが、状況の説明を早くに受けたため、スムーズな委員会活動を行うことができたと感じている。



環境課から説明を受ける



剪定枝等ストックヤードの設置場所

7/8

箱根町文化・スポーツ財団と議会との意見交換会

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口延明

箱根町には外郭団体として「(公財)箱根町文化・スポーツ財団、箱根町社会福祉協議会、箱根コンベンションビューロー、根町国際交流協会」の4団体がある。

その中で、町からの出資比率(2分の1以上)の割合を満たした団体である箱根町文化・スポーツ財団については、議会定例会で経営状況の報告が行われる。

6月定例会終了後に社会教育センターにおいて社会教育センターにおいて、箱根町文化・スポーツ財団の事務局長に出席を求め、経営状況の報告について質疑を行った。



意見交換会の様子

主な内容として

① 貴重な自主財源となっている

る会費収入が前年度比51,000円の減となっているが、その要因と個人・団体会費の減額の状況について

② 当初計画と実績において、乖離が大きかった事業の要因と改善策について

③ 職員の報酬が減額となっているが、内容は？

④ 事業報告書作成の委託先と決算報告書作成の状況について

など7名の委員から16項目の質疑があり、その後、令和6年度事業の実施状況等について意見交換会を行った。

※外郭団体・・・町が資本金または基本金等の25%以上を出資している法人

令和6年度
財団事業報告書

御殿場市議会広報委員会視察

広報広聴委員会 委員長 村野由紀子



議場にて！



説明会の様子

御殿場市議会広報委員会の皆さんが広報広聴委員会の活動を視察に来られ、当日はパワーポイントを使いながら、議会だよりの編集や議会報告会の開催状況、課題等の説明を行った。御殿場市は箱根町にとって生活圏の一部で、買い物や病院、仕事など利用することが多い地域であることから、これをきっかけに交流を深めていきたい。

行財政改革調査特別委員会

行財政改革調査特別委員会
委員長 稲葉親太郎

全議員で宿泊税の説明を受ける！

危機的な財政状況にある中、平成28年度より財源確保策として固定資産税の超過課税が継続されているが、中長期財政見通しの結果、公共施設再編・整備計画に基づく計画的な施設管理、行財政改革アクションプランによる収支改善効果を図っても、なお財源不足の拡大が見込まれることから、新たな財源の導入を検討する必要があるため、本年4月10日に町所管課から当委員会に対し、令和元年に発足された「箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」の状況が報告された。

また、去る6月12日に開催の当委員会では、6月定例会初日に勝俣町長のあいさつに述べられた、宿泊税検討に関する話があり、その表明の前提となった検討会議の中間報告書について、町所管課から説明を受け、その後、多くの委員から質疑があった。

令和10年4月1日の実施を目指して、宿泊税導入に向けた検討が進められることから、今後も継続して調査研究を進めていきたい。

議長フォトレポート

6
6 金

明星展を見学！

6
11 水黒岩県知事、長田県議会議長等へ
神奈川県町村議会議長会 会長就任の報告

議会報告会

実施日時 令和7年5月15日 19時開催
場 所 社会教育センター



前半は、予算審議の説明や議員が特に注目した事業について、パワーポイントを使用して説明を行いました。

後半は、参加者少数ではありましたが、民泊やごみの捨て方、外国人観光客のバス利用における問題など、ご意見・ご要望があり、全議員で懇談させていただきました。早速、各議員が6月議会の一般質問で、町側に対応を求めました。また、アンケート調査結果では説明内容は、わかりやすい、説明時間もちょうど良い、資料もわかりやすく、とても良かったという感想でした。その他にも入湯税や宿泊税等の収入を増やす政策や、議員と町民との懇談の場があると良い等ありました。

今後は、議会報告会の周知等にも工夫しながら多くの皆さまに参加していただけるよう努力してまいります。

広報広聴委員会 委員長 村野由紀子



町民の方から様々なご意見をいただきました！

お知らせ

9月定例会開催予定日

本会議

8月26日、28日、9月1日



※ 8月19日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。
詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

議

員

活

動

報

告



皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報をお待ちしています！



5/27

令和7年度全国町村議会議長会議長・副議長研修会

令和7年度全国町村議会議長会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムにて開催されました。

今回のテーマは防災関係で、有事の際には議会議員が率先して災害状況や必要な物資等の状況報告等、行政との橋渡しとなることを心がけ、普段から自治会等との連携を行うことが大切であることを改めて実感しました。

(稲葉親太郎)

6/5

防災出前講座

災害発生時、避難所となる文化センターで仙石原女性会の皆さまと参加！避難所が開設された際の実際のスペースを数人で寝転がりその広さを体感し、状況を想像しながら体験型の出前講座でした。また、備蓄品の保管場所を確認し共助の意識向上も高まりました。

(村野由紀子)



6/6

お玉ヶ池地区町有林樹下植栽

豊かな森林づくり事業のお玉ヶ池地区町有林植栽に町会議員12名が参加しました。天候に恵まれた中50名を超える参加者により、イロハモミジやブナ等広葉樹の苗木を500本植林しました。お玉ヶ池周辺町有林への植栽事業は毎年続けられており、ゆくゆくは紅葉の名所として箱根の魅力の一つになると期待されます。

(丸子英人)





6/15

はこねっこ みまもるーむ

子育て支援イベント「みまもるーむ」が社会教育センターで開催されました。

8世帯15人の父母とお子さん方が、お絵かきや輪投げ、フリスビー、絵本読み聞かせ等々で楽しい時間を過ごしました。

お昼は手作りカレーが好評で、3杯お代わり的小朋友さんもありましたよ。

良いコミュニティの場でした♪ (佐藤章子)



6/6~8

第46回明星展・第37回社会教育センターまつり

ステージコーナーでは、7日「音楽のつどい」として、午前は箱根中学校吹奏楽部、午後はフルートアンサンブルの演奏、8日午前は、琴和会による大正琴の演奏、午後はフラアオラニとフラアオラニキッズによるフラダンスショーが行われ、盛り上がりしました。(鈴木美貴)



6/15・29

温泉体育会スポーツ交流

6月の温泉体育会はスポーツ月間。15日グランドゴルフ大会には60名程度の方が参加、29日ソフトバレーボール大会は、6チーム総勢45名の方々と熱い戦いが繰り広げられました。日ごろの運動不足解消とともに、温泉地域の交流を深めました。次の対戦は秋の健民祭となります。(折橋尚道)



6/14

第21回箱根をどり

箱根湯本芸能組合主催の「第21回箱根をどり」が開催されました。

当日は3回公演が行われ、どの回も大盛況で「長唄・島の千歳^{せんざい}」から始まった舞台上での舞、三味線、笛、鼓などの華麗なる日本文化が花開きました。

芸妓の皆さま、連日のお稽古お疲れ様でした。(佐藤章子)





6/30

花いっぱい事業（小涌谷自治会）

梅雨の中休み、花いっぱい事業で提供するサルビア72株を猛暑の中、小涌谷自治会の皆さんが、旧しらゆり荘の町道沿い花壇の植え替えをしました。年4回開催している恒例の自治会行事で多くの方々が参加されました。（折橋尚道）



7/2

仙石原幼児学園「はこねっこ夏祭り」

仙石原幼児学園の「はこねっこ夏祭り」が開かれました。地域から女性会、民生委員、青少年指導員、星槎大学箱根キャンパスのみなさんがボランティアとして各ブースの運営をし、保護者とお子さんは各ブースを回って様々なゲームをして、景品をもらい大喜びでした。途中で小学1年の児童も参加し、校長先生と一緒にゲームをして楽しんでいました。（鈴木美貴）



6/21

令和7年度箱根町子どもレクリエーション大会

小学生約50名が参加し、星槎レイクアリーナ箱根で開催され、あお、あか、みどり、きいろの4チームに分かれ、ドッチビー、ボッチャ、巨大オセロ、輪投げの4種目に全員が参加し、みんな仲良く楽しんでいました。（鈴木美貴）



6/26

土砂災害全国防災訓練

恵明学園体育館で開催された避難訓練。安否確認のために飾られた、玄関先の黄色いタオルを消防団がいち早く確認して避難所に到着。すぐに避難所運営とファーストミッションボックスの利用などの講習を受けました。総勢50名程度の参加者の中には宮ノ下在住のネパール人の家族もこられて熱心に聞いていました。（折橋尚道）



地方自治学習・議場見学

私たちは6年生になると「地方自治」について勉強することとなっています。6月10日（火）は市内の小学校4校が役場に集合し、議会の傍聴や役場を見学しながら、議会の役割や仕組みについて勉強しました。

それでは、各学校からの感想を読んでください。



役場食堂で事前オリエンテーション



傍聴席から議場を見学



みなさん真剣！



議員控室にて



正副議長室を体験！



役場正面玄関で質疑応答

児童の感想

【湯本小学校】

- ・議会を見るという貴重な時間を過ごすことができました。話し合われている内容が難しく分からないところもあったけれど、議員さん達は分かっていて、すごいと思いました。18才になったら選挙に行って、よく考えて1票を投票したいです。これからも私たちのために箱根町をよりよくしてください。

【仙石原小学校】

- ・本会議では、参加している方々がすごく静かで一生懸命に集中して話し合っていることが分かりました。一般の人の傍聴受付があったので、次は、親と傍聴しに行きたいです。

【恵明学園】

- ・箱根町について話し合われている議会を見学できて、とてもよい勉強になりました。いつか議会を見学してみたいと思っていたので、見学ができてよかったです。
- ・とても大きい議場に座ると緊張しました。議会を見学して色々な問題があることが分かりました。

【箱根の森小学校】

- ・本会議を見て、政治についてもっと詳しく調べようという気持ちになったし、私たちが豊かに暮らすために、こんなことをしてくれているというありがたみを改めて感じました。やはり議員さんたちは町民の願いのために色々頑張っているということが伝わってきました。



県道湯本元箱根線
畑宿 新千鳥橋付近



石川仁兵衛の墓



石川仁兵衛の解説板



挽物細工



伝統工芸技法
木象嵌作品を制作中



絵画や図柄を表現した
世界的に例のない木象嵌作品

箱根細工は伝統的な技法を用いた木工製品で、代表的な「寄木細工」などがあります。様々な技法があり、例えば挽物細工はロクロで回転させた材料に刃物を当て削って作るもので、湯飲みなどの食器類があります。指物細工は板材や角材を組み合わせて作るもので、家具類などの製品があります。国から伝統工芸品に指定された「箱根寄木細工」はこの技術から派生し、色の異なる自然木を幾何学模様に合わせて、指物細工の表面を装飾したもので、江戸時代後期には作られており、土産物として広まりました。明治以降は、寄木模様を薄く削って貼り付ける「ズク」と呼ばれる技術や様々な天然木をはめ込み絵画のように表現した木画技術である「木象嵌」が生まれ、全国的にその名が知られるようになりました。現在もその時代が求める作品づくりが続けられており、近年では訪日外国人客により美術工芸品として、その素晴らしさが見直されています。

(鈴木美貴)

投票に
行きましょう!!



町議会議員選挙

告示日

9月16日火

投票日

9月21日日

編集後記

早々と梅雨入りになった割には平年より降雨量は少なく、水源は大丈夫かと気にかかります。

また、地球温暖化がすごい勢いで押し寄せて来ていますね。「春と秋」という美しく過ごしやすい季節の存在も心配です。

現メンバーでの議会だよりの編集は今回で最終版となりました。

平素、議会だよりを愛読いただきありがとうございます。
(佐藤章子)

広報広聴委員会

委員長

村野 由紀子

副委員長

折橋 尚道

委員

鈴木 美貴・勝保 陽二

佐藤 章子・勝保 泰彦

